

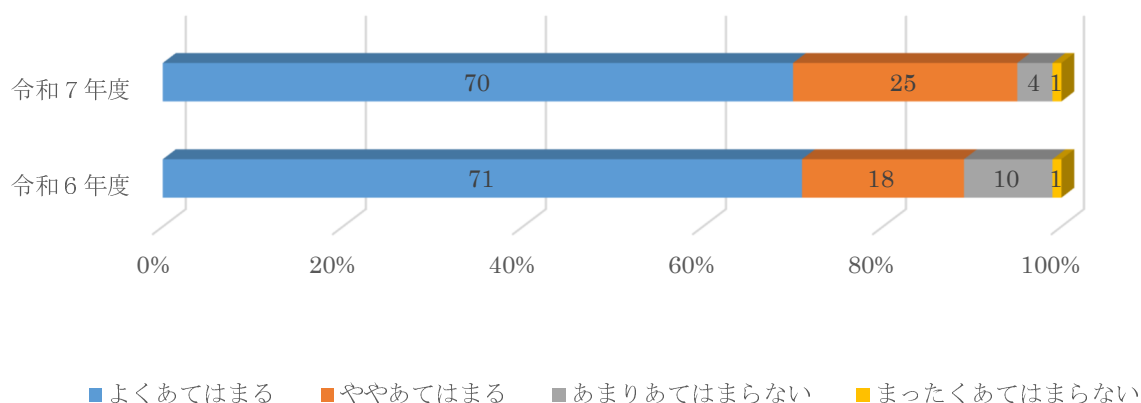
令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和7年度学校評価アンケートを全校児童に対して行った。その中で、資料1のように、質問「英語活動は楽しいですか」に対し、1年生から4年生の児童で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合が令和6年度より6ポイント上昇し、全体の95%となった。このことから、ほとんどの児童が英語活動に楽しく取り組んでいることがわかる。ただ、資料2のように、学年別の結果を見ると、「よくあてはまる」と回答した児童の割合が、学年が上がるにつれ減少している。毎日繰り返し活動に取り組む中で英語表現の定着が進む一方、DVD視聴活動に対する意欲の低下が懸念される。

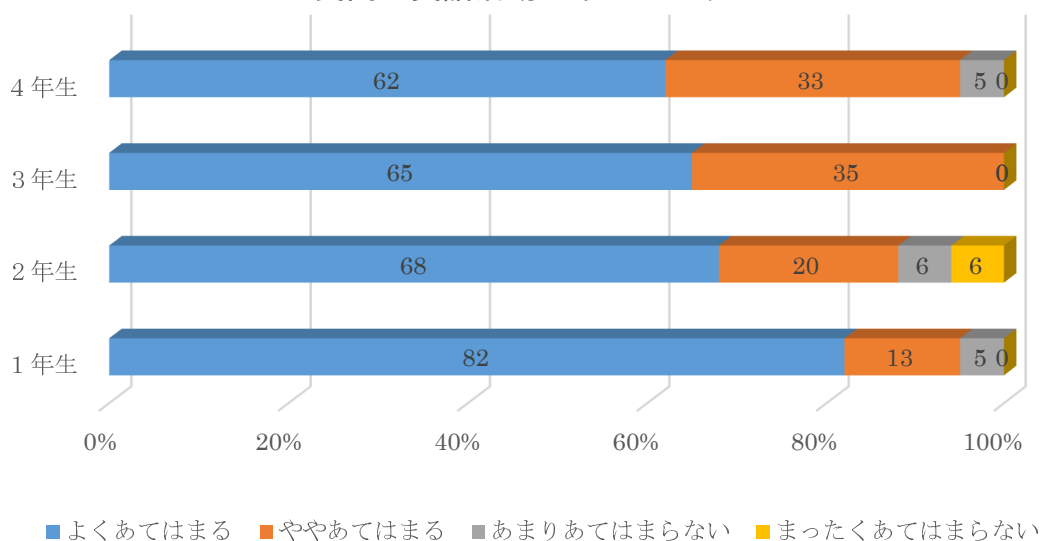
【資料1】1～4年生児童のアンケート結果

質問：英語活動は楽しいですか



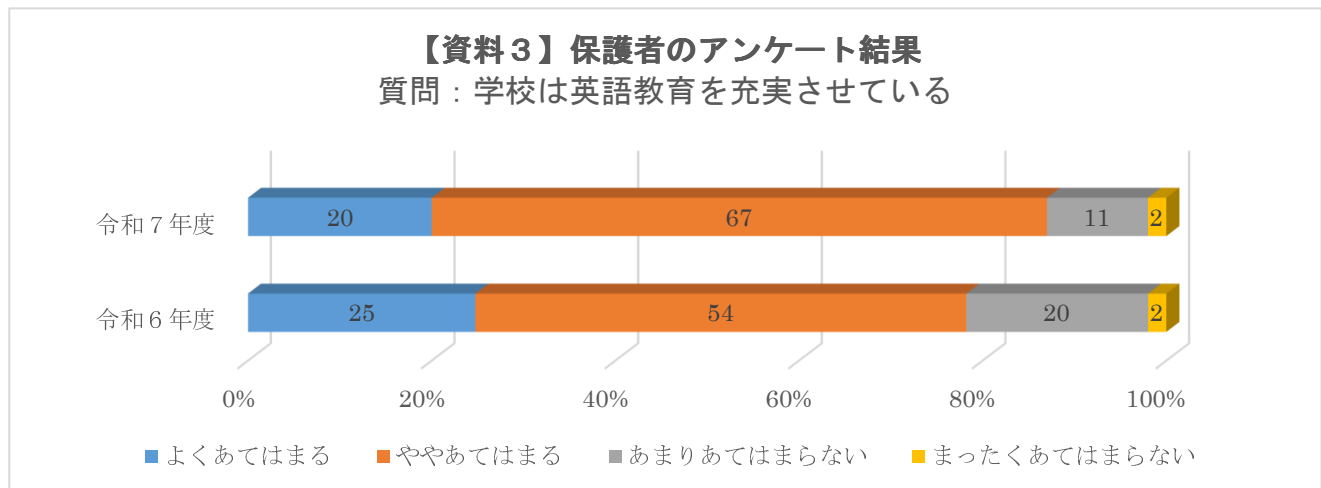
【資料2】児童のアンケート結果

質問：英語活動は楽しいですか



2 学校関係者評価結果

令和7年度保護者に向けて行った学校評価アンケートでは、資料3のように、質問「学校は英語教育を充実させている」に対し、「よくあてはまる」と回答した保護者の割合は、令和6年度より5ポイント減少し20％であった。これは、児童が質問「英語活動は楽しいですか」に対して「よくあてはまる」と回答した値と比べてかなり低い値となっている。折に触れて、学校での英語活動の取り組みを、保護者に向けて周知していくことが必要である。



3 まとめ

資料1、2から、児童は日々の英語活動に対して、おおむね楽しく取り組んでいることがわかる。一方で、学年が上がるとともに少しずつ意欲が低下する傾向も見られる。教師がジェスチャーを交えながら児童と一緒に発音するなど率先して活動に参加し、ともに学ぶ姿勢を見せ、児童の活動を刺激しつつ実施することを心がけたい。さらに、活動への意欲を高めるために、DVD視聴に加えて、英語の歌を歌う、簡単なゲームを取り入れるなど、活動内容を工夫したい。資料3から、引き続き保護者に対して、学校での英語活動の取り組みを周知していく必要がある。学級通信の記事に取り上げたり、掲示物等を活用して学校参観時等に関覧できるようにしたりして、英語活動の実施について発信したい。